

SATOYAMA 国際会議 2013 in ふくい

が開催されました！

ソマリーさん



自然資源が多く残る南越前町。人々と自然との共生に感心しました。これらが、みなさんの心の豊かさを育てていると感じました。

里山の保全・活用を考える「SATOYAMA 国際会議 2013 in ふくい」が9月8日に開幕。1週間にわたり福井の里山・里海湖の魅力に触れ合う様々な行事が県内各地で行われました。

9月9日、10日の両日に行われた里山SATYでは、カンボジア王国環境省のソマリー・チャンさんが南越前町に滞在し、夜叉ヶ池にしか生息しない固有種「ヤシャゲンゴロウ」の生態をはじめ、板取宿や今庄宿の散策、北前船主の館右近家の見学など里山の暮らしを体験しました。

また、町長室を訪問し、環境と暮らしづくりについて川野町長と対談。ソマリーさんは「地方での暮らしの良さに興味深さを覚えた。どこへ行ってもおもてなしの心で接してくれると感じている」と感想を述べられました。



ヤシャゲンゴロウの生態を学ぶソマリーさん。



町長との対談では、里山の暮らしに関心を寄せていました。



板取宿の保全について熱心に聞き入っていました。

北陸新幹線 進捗状況のお知らせ

★事業説明会の開催

平成 24 年 8 月に町内全区長へ事業説明会を開催しました。平成 24 年 9 月からは関係区への説明会を随時開催しています。

★環境・水文(すいもん)調査

平成 25 年 6 月から、トンネル掘削予定区において、動植物の生態や水の流量・水位・水質等について調査を行っています。

★基準点測量

平成 25 年 7 月から、ルート通過区において、公共用地に座標と高さの基準となる点を設置する作業を行いました。

★中心線測量

平成 25 年 7 月から、新幹線ルート上に中心杭を設置する作業内容について、土地所有者への説明を行っています(9月現在、一部区のみ終了)。

■問合せ 企画財政課 ☎ 47-8013



※画像は、北陸新幹線の新型車両である E7 系(JR 東日本)・W7 系(JR 西日本)のイメージです。

北陸新幹線については、昨年6月29日に金沢・敦賀間の着工が決定して以降、平成37年度末の開業を目指し、事業主体の『鉄道・運輸機構』は、県や町と連携し、段階的に事業を進めているところです。

現在の南越前町の進捗状況を左記のとおりお知らせします。今後も皆様のご理解とご協力をお願い致します。